

都市防災備災の現状と展望

サイエンスアゴラ in 大阪
シンポジウム

日時 2019年3月4日(月)

18時30分・20時45分「受付・開場18時00分」

会場 大阪市中央公会堂「3F 小集会室」(大阪市北区中之島1-1-27)

定員 130名(要事前申込・先着順)

参加無料

産官学ネットワークの
共創に向けて

基調講演

世界一の地震・火山大国に暮らすということ

巽 好幸 (神戸大学 海洋底探査センター 教授/センター長)

話題提供1

大阪の高潮防御施設操作のタイムライン

川上 卓 (大阪府都市整備部 河川室河川整備課 参事)

話題提供2

大阪都心ビジネス地区中之島でのエリア防災備災の取組み

岸田 文夫 (中之島まちみらい協議会 代表幹事)

話題提供3

災害時の支え合い：国際・多文化共生 × 地域資源 (寺社・自治会) × アプリ

稲場 圭信 (大阪大学大学院人間科学研究科 教授)

自然災害が多発する今日。これまで防災意識があまり高くなかった大阪では、昨年大阪北部地震や台風21号などによって、さまざまな都市防災備災の弱点が露呈し、ハード整備だけでなく、災害発生時の個人(民)・組織(産)・公共(官)等の“判断”や“情報共有”の課題がみえてきました。そこで「サイエンスアゴラ in 大阪」では、大阪における行政・企業業務・文化交流機能を牽引する【中之島】において、都市防災備災について産官学ネットワークによる対話と共創の場を創出し、将来必ずくるであろう災害対策の一助としたいと思います。

開会のあいさつ

小川哲生 (大阪大学 理事・副学長)

基調講演

「世界一の地震・火山大国に暮らすということ」

巽 好幸 (神戸大学 海洋底探査センター 教授/センター長)

話題提供 1

「大阪の高潮防御施設操作のタイムライン」

川上 卓 (大阪府都市整備部 河川室河川整備課 参事)

話題提供 2

「大阪都心ビジネス地区中之島でのエリア防災備災の取組み」

岸田 文夫 (中之島まちみらい協議会 代表幹事)

話題提供 3

「災害時の支え合い：国際・多文化共生 × 地域資源(寺社・自治会) × アプリ」

稲場 圭信 (大阪大学大学院人間科学研究科 教授)

ディスカッション

「都市防災備災の産官学ネットワークの共創」

登壇者：巽 好幸、川上 卓、岸田 文夫、稲場 圭信

モデレーター：木ノ下 恵子 (大阪大学共創機構社会学共創本部 准教授)

総合司会：寺田 健太郎 (大阪大学 副理事、理学研究科 教授)

「サイエンスアゴラ」とは…

サイエンスアゴラは、科学技術振興機構(JST)が主催する科学と社会をつなぐ日本最大級のオープンフォーラムです。あらゆる人々が対話・協働し、それを政策形成や知識創造へ結びつける共創のプラットフォーム構築を推進しています。2017年度より、ビジョンやテーマを共有する機関とともに共創活動の振興を図る連携企画を実施しています。

<http://www.jst.go.jp/sis/scienceagora/>

日時：2019年3月4日(月) 18:30-20:45 [受付・開場18:00~]

会場：大阪市中央公会堂 [3F 小集会室] (大阪市北区中之島1-1-27)

定員：130名 (要事前申込・先着順)

参加無料

お申し込み方法

WEB申し込みフォーム、メール、電話のいずれかにてお申し込みください。

WEB申し込みフォーム：<http://artarea-b1.jp/> (右下の「チケット申込」をクリック)

メール：mail@artarea-b1.jp (件名：3/4サイエンスアゴラ参加申込)

電話：06-6226-4006 (12:00~19:00/月曜(祝日の場合は翌日) 休館)



〒590-0005 大阪市北区中之島1丁目1番27号
 大阪メトロ御堂筋線「淀屋橋駅」①出口より徒歩約5分
 大阪メトロ有楽町線「京橋駅」②出口より徒歩約3分
 大阪メトロ有楽町線「京橋駅」③出口より徒歩約3分
 京阪中之島線「ななびわ橋駅」④出口より徒歩約1分
 ※中央公会堂の地下レストランにある「西入口」よりご入館の上
 4番エレベーターにて3階へお越しください。



巽 好幸 (たつみ・よしゆき)

神戸大学海洋底探査センター 教授/センター長

1954年大阪府生まれ。理学博士。専門はマグマ学。水惑星地球の進化や超巨大噴火のメカニズムを「マグマ学」の視点から考察。日本地質学会賞、日本火山学会賞、米國地球物理学連合ボーエン賞、井植文化賞などを受賞。近著に『火山大国日本 この国は生き残れるか一必ず起きる富士山噴火と超巨大噴火』(さくら舎、2019)がある。



川上 卓 (かわかみ・たく)

大阪府都市整備部 河川室河川整備課 参事

1967年京都市生まれ。京都大学土木工学科卒業後、1991年大阪府入庁。主に府内各河川の治水計画立案を担当。一般財団法人国土技術研究センターへ出向し、国の都市型水害対策の施策立案にも従事。ダム事業の環境対策や、河川空間を利用した都市魅力創出事業も担当。2018年より河川室河川整備課参事。「水防災意識社会」の構築にむけ、リスク情報の提供や水害対応タイムラインの構築に携わる。



岸田 文夫 (きしだ・ふみお)

中之島まちみらい協議会 代表幹事

1963年大阪府生まれ。大阪大学大学院環境工学専攻修士課程修了し、(株)竹中工務店へ入社。都市計画コンサルタントへの出向、本社経営企画室等を経て2016年より開発計画本部長(西日本担当)。中之島や御堂筋等での大規模な都市開発に携わるかたわら、NPO等で大阪の魅力アップのための活動も行なっている。2015年より中之島まちみらい協議会代表幹事。著書に「景観からのまちづくり」、「大阪のひきだし」、「都市の魅力アップ」など(全て共著)。



稲場 圭信 (いなば・けいしん)

大阪大学大学院人間科学研究科 教授

1969年東京都生まれ。東京大学文学部宗教学宗教史学専修課程卒業、ロンドン大学で博士号(宗教社会学)取得。専門は共生学、宗教社会学、利他主義・市民社会論、防災・災害復興と宗教。ロンドン大学、フランス社会科学高等研究院(EHESS)日本研究所、國學院大学日本文化研究所、神戸大学を経て、2010年より現職。主な著書に『利他主義と宗教』(弘文堂、2011)、『災害復興と宗教』(明石書店、2013、共著)、『災害支援ハンドブック』(春秋社、2016、共著)など。

主催：大阪大学共創機構
 共催：中之島まちみらい協議会、国立研究開発法人科学技術振興機構、アートエリアB1
 制作協力：大阪大学21世紀懐徳堂、一般社団法人アートエリアB1
 協力：大阪市中央公会堂 指定管理者サントリーパブリシティサービスグループ
 後援(予定)：大阪府、大阪市